



編集と発行

### 金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話 632111 (代表) 内線40

## 豊作の願いを託して 農作業フル回転



7月8日開催の「水稻青空教室」(嘉瀬)

表層追肥は  
チツソ量が大切

水田の苗も幼穂形成期に入り、気温の格差が激しいこれらの時期、水管理と生育状況に応じた表層追肥が最も重要となりました。

金木町を含む津軽北部の水田地帯は、泥炭土壌(サルケ)が非常に多く、地力が高いため、深層追肥のあとに行われる出穂二十五日〜十五日前の表層追肥では、チツソ量を控え目にするのが重要で、収穫にもかなりの影響を与えます。化成肥料の袋面には、三つの数字が書かれ、左からチツソ、リンサン、カリウムを示し、数字は二十キロ

グラム中のパーセンテージを表しています。このことから、例えばチツソ十四の肥料を十アールに二袋使用すると五・六キロのチツソがまかれることとなります。これからの表層追肥は、チツソ量が十アール当り二・三キログラム程度でよく、生育の遅れが著しい水田では、追肥を待つように指示しています。

### 水管理は 気温によって

水管理は低温の影響を受けやすい時期だけに水深を十二センチ以上にし、逆に梅雨明けと共に異常高温や多照な日が続く場合は「根腐れ」の原因となるため浅水にするか水の入れ換えも必要です。

また転作後の水田や基盤整備直後の水田は多収より安定確収と品質向上を目的に土壌むらの防止に努めることが肝要です。

来月十日頃には、いよいよ出穂も始まり、白い稲の花が満開となりますが、好天を今から祈らずにはいられません。

## 葉たばこの 収穫はじまる

町内で六十ヘクタールの作付面積を持ち、畑作における基幹作目の一つである葉たばこは、七月上旬から下葉の収穫が始まりました。たばこ苗の成長に伴って下葉、中葉、本葉、天葉と順次収穫されて行きますが、全て特殊な機械を使用しての収穫で機械編み、ハウス



内の乾燥を経て出荷されるのが十一月下旬で、一枚一枚に何度も手間をかけます。町内に作付している葉たばこは、主にパーレー種という冷害に強い品種で、一本の苗から二十七〜八枚の葉たばこが収穫でき栽培の主流を占めています。今回の下葉の収穫は、中葉、本葉の成長を助長するためのもの、品質と等級

は問題外。それでも商品価値は十分なため収穫にも力が入ります。

等級による価格の変動が激しい葉たばこ栽培も、気象条件により収穫が大きく左右され、病害虫の発生や葉焼けが一番心配されますが、今年は今ところ順調な成長で、高品質による上位等級も望めそう。

今月末の開花と共に作業も急ピッチで進められ、備の事も借りたい程の忙がしが、暮れまで続きます。

# 町の活性化に向けて 町議会に2特別委員会を設置

## 企業誘致 特別委員会

設置された特別委員会の一つは、企業誘致促進特別委員会、七月二日に開かれた組織会では、吉田米逸氏(写真)を委員長に選出。地域活性化実現に向けて始動しました。



三月定例町議会では、誘致企業の優遇を図るべく、雇用人員が五十名以上等で適格工場と認められる企業については、奨励金を交付するなどを折り込んだ「金木町工場設置奨励条例」が可決。今年四月には、この

事務を担当する「商工観光課」が新設されるなど、実現に向けてにわかに活気立ってきました。

吉田委員長は、「地場産業の掘り起しと育成に活力を見出す町に合った企業誘致実現を図りたい。当面は、委員相互による資料収集や

## ばんえい競馬 特別委員会

ばんえい競馬事業促進特別委員会では、委員長に伊丸岡勇氏(写真)を選出。競馬開催に向けた運動を再開することになりました。

町が「地方競馬場指定」の陳情書を県に提出したのが、七年前の昭和五十三年一月のこと。県はこれを受けて採算や経費負担などを

専門部に分けての情報交換をなし、委員会設置の意義を高めたい。」と意欲を示していました。

委員は次のとおり。敬称略  
▼委員長 吉田米逸 ▼副委員長 西村節男 ▼委員 小林長一、小田桐喜吉、吉崎正光、野宮雄造、古川哲雄、沢田政孝、竹内武六、沢田茂、今久米雄、伊藤清慈。

から、場内整備などの六百人に上る労働力需要と厩舎使用の幅わらが年間七百三十トンに及ぶため、たい厩肥による土づくりや畜産振興などを競馬開催のメリツトに掲げ、実現に向けて再燃したものです。



伊丸岡委員長は「地域の活性化を図るためには、何んとしても実現したい。」と決意を述べていました。

## 補正予算など全議案を可決

さる六月二十八日招集の第百三十六回金木町議会臨時会は、八議案と四報告の承認を求め、古川町長が提案。全て原案通り可決承認されました。

八議案のうち三件は、昭和六十年年度の各会計補正予算で一般会計は、町道整備や側溝整備、水道事業への繰出金など五千五百八十七万七千円追加し、総額二十八億六千六百六十七万九千円となりました。

## 第136回臨時議会

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、さらに、家庭奉仕員派遣手数料徴収条例の一部を改正する条例がそれぞれ可決されました。残りの二議案は、ほ場整備による水田などの編入、編出に係る、五所川原市との境界変更について可決されました。

また、老人保健特別会計は、四百五十万七千円の追加で五億三千五百六万一千円とし、水道事業会計は、八百七十七万三千円を追加し、収益的収入及び支出が一億八千八百八十六万二千

委員は次のとおり。敬称略  
▼委員長 伊丸岡勇 ▼副委員長 白川徳政 ▼委員 嶋海義男、小野祐蔵、対馬兼正、白川竹治、基田豊一、秋元武治。



金木町の産業振興と地域活性化  
実現のため、さる三月定例町議会で、二つの特別委員会が設置され、このほどその組織会が開催されました。

# 農村総合整備モデル事業 実施計画の骨子まとまる。

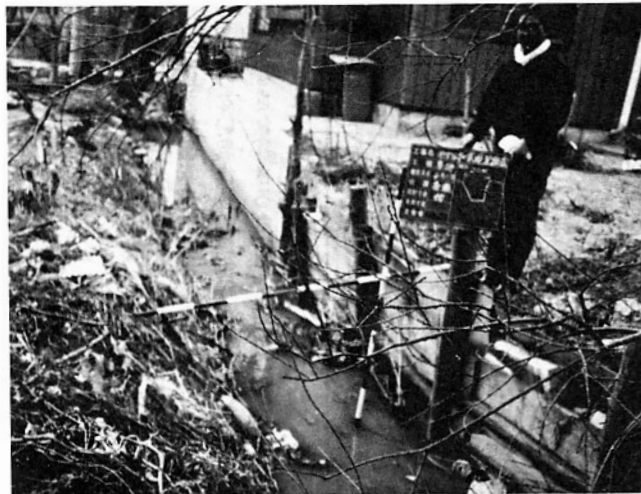
金木町の農業の生産基盤と生活環境を一体的に整備する「農村総合整備計画」は、今年三月にまとまり、町では、この計画を具体的施策に移す「農村総合整備モデル事業実施計画」に取り組んでいます。

農村総合整備計画については、昨年五月号の本紙にその概要を紹介しましたが、

農業の生産構造や農村社会の変化による自給率の低下や環境整備の立ち遅れなどに対処するため、今後十年間という長期的展望に立つた町全体の整備構想を描くもので、この三月、一冊に製本され、金木町農村総合整備計画書として、でき上りました。

現在策定中の「農村総合整備モデル事業実施計画」は、出来上がった計画書をもとに、農道整備や集落排水処理施設整備、農業集落道整備などの具体的施策を折り込む、実施を前提とした計画で、町づくりの青写真と言えます。

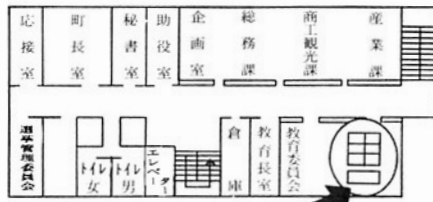
具体的施策としては、今年五月二十七日から六月十三日まで、各集落毎に開催された、部落懇談会での要望事項を折り込み、これまでに農道整備十路線、防火水槽六基、農村公園六カ所などが、モデル事業推進協議会”で承認を得ています。皆さんの意志を十分に反映させ、より住みよい町づくりをめざして実施された昨年のアンケート調査がいよいよモデル事業実施計画により実現の第一歩をあゆんだこととなります。



こんなところもこの事業で整備されます

昭和六十一年度からは、この計画をもとに事業が実施される訳ですが、十年間を目標に約十三億円が投じられる大きな事業となります。

庁舎二階西側で事務をとっている建設課は、文字通り建設に係る仕事で、係は工事契約や専用許可、土木工事に関する庶務係。建築確認や町有建物の営繕に係る建設係。各種工事の設計及び技術的指導にあたる管



2階 建設課

理係に分かれ、七月一日現在運転技能員二人を含め九人で事務を分担しています。

町道の舗装・整備、町営住宅の設計をはじめ、冬場は除雪が最大の仕事となり昼夜を問わず町有八台の除雪車が運転者の増員とともにフル回転します。

町道は、延べ一九〇・〇四二キロメートルで、金木から盛岡近郊までの距離に相当します。



また、同課では、小田川の改修事業に協力し、改修の早期完成を図るため設置されている小田川改修事業促進委員会(沢田茂 委員長)の事務も担当しています。

## 管理職のプロフィール

建設課長 伊藤幸造(66)

昭和3年9月12日生まれ

職員採用時から現在まで建設課一筋二十七年。文字通り同課の主である。

私の一言……私達の担当する土木建築行政のなかでも道路の維持管理と、冬期間

めの除雪作業は、特に町民の日常生活に密着した大事な仕事のひとつで、これには何よりも地域住民の深い理解と協力を得ながら、本事業を円滑に進めて行かなければならないと考えております。

## やくばのしごと ③

### 除雪時は休みなしの建設課

建設課一筋二十七年。文字通り同課の主である。

私の一言……私達の担当する土木建築行政のなかでも道路の維持管理と、冬期間



# 防鳥効果は抜群

## 新目玉風船を考案

弘前大学農学部附属金木農場で、全国的にも例のない農作物の鳥害防止効果について研究がなされ、さる六月二十四日、研究結果が公表されました。

この実験をしたのは、同農場の村山成治助教授と応用昆虫学教室の城田安幸助手、北川利雄技官の三人で、城田助手が中心となって、室内実験と現地実験に分けて行いました。

農作物のカラスやムク鳥などによる被害を目玉風船を利用してある程度防止できることは、最近飛行機のジェットタービンを目玉模様にするなど実用化されていますが、考案したのは、このグループによるものです。

研究は、同農場の飼料用トウモロコシ畑がカラスなどに三〇％位の被害を被っていることから、目玉風船の改良で被害を少なくできないものかと始められました。

室内実験では、鳥が風船



新目玉風船の実験結果を公表する城田助手(左)と村山助教授

に驚く状況と慣れについて実験を繰り返して、新しく縦一四〇センチ、横八〇センチの立体感があり光沢の出る新型目玉風船を考案。こ

の風船ともう一種類の両目タイプのもので一週間毎に交換し、鳥の反応を確かめた。鳥は、即ちに反応を示し、慣れないせいか近寄らず、しかも新型風船は、少なくても三週間は有効で、種を食い荒らすことのできない成長したトウモロコシまでの、生育期間とはほぼ同じ

トウモロコシは、五月十七日に芽を出し、すでにカラスによる被害が開始し、六月五日に目玉風船を設置以後、被害状況を一株づつ

ことから充分生かされる結論が出ました。今回、この室内実験を同農場で現地実験し、五月十七日の播種から始められま

まず、一ヘクタールのトウモロコシ畑を四区画に分け対角状の二区画をそれぞれ調査区と対照区にし、被害状況を比較する実験を行いました。

## カラスの被害は10%以下

数えました。

その結果、一番被害の大きかった芽を出してから十日後の六月十三日には、風船を設置した二区画の防除区で一・九%、対照区で一〇%の被害で、成長により被害の出なくなった六月二十日までの間、この風船を設置した防除区画全体では四%以下という驚異的数

値を得ることができました。また、この現地実験ではカラスによる被害箇所は集中するという新たな問題も出たことから、来年は、エサ場としての箇所を設け、最終目標の人間と鳥が共存できる農業を目ざして研究を進めて行く方針です。従来、農家の人は、農作物を害鳥から守るために、テグスや針金、テープ等を張り巡らし被害を防いできましたが、学問的見地から研究しているのは全国的にも例がなく、城田助手は今回の研究結果を来年札幌市で開かれる「日本応用動物研究学会」に発表することにしています。

## 10月1日は国勢調査

十月一日、全国一斉に国勢調査が実施されます。九月下旬から十月上旬にかけて調査員がお宅にお伺いしますので、漏れなく記入していただきますようお願い致します。



アイマン、OLの皆さんも、ひとり、ひとり世帯主として調査の対象になります。豊かな日本を築くための資料づくりとなりますので、ぜひご協力ください。

総務庁統計局

# 最優秀賞に白川照男さん

## 水稲育苗コンクール

金木町産業振興会議(吉崎忠直会長「町助役」)が主催する今年度水稲育苗コンクールで、白川照男さん(沢部)が最優秀賞に輝いたほか、三十四人が入賞し、このほど中央公民館で表彰式が行われました。

このコンクールは、町の基幹作目である水稲の育苗技術が優れた農家を表彰し、谷柁志、三瀧成太郎、

# 金病が火事だ!!

## 大掛りな消防訓練

公立金木病院で、さる六月六日、はしご車を出動させるなど大掛りな消防訓練が実施され、防火意識の高揚につとめました。

訓練の想定は、風速十メートルで異常乾燥注意報発令の中、二階東病棟の乾燥室から出火延焼中で、全員避難の必要あり、また、屋上に男二名女三名の逃げ遅れた者があり救助が急がれるというもの。

五所川原消防署からは四十メートルも延びるはしご車が必要に応え、金木署の

その技術内容を公表することによって、米質向上と農

家経営の安定を図るため毎年行われているもので、斉藤清四郎金木地区農業改良普及所長が審査委員長となり、苗代審査と苗審査を行い、次の方が入賞しました。

▽最優秀賞 白川照男

▽優秀賞 白川伝蔵、大田重夫、白川幹雄、中谷秀照、吉田完造、成田唯良。

▽優良賞 川口隆、佐藤欣蔵、白川峰雄、徳田長弘、角田昭太郎、白川竹治、徳田雄治、白川理一

▽奨励賞 工藤兼四郎、泉谷久友、松川清美、吉田隆雄、三瀧春樹、三瀧福正、古川武六、棟方馨。

▽努力賞 秋谷正義、葛西倉光、中谷九、鳴海政太郎、榊引勇市、川口良一、白川広正、吉田登志一、徳田重夫、白川幹雄、中谷秀照、吉田完造、成田唯良。



はしご車を使つての火災訓練

このあと屋外では、油火災、LPガス火災の消火器による模擬訓練も行われ、看護婦さんたちは、真剣な表情で消火にあたっていました。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが、金病のような近代的建物では、煙による人災も多く発生していることから非常口の確

保の避難感覚を、屋上という個所も時には避難場所となることを認識させました。

# 達者で

# がんばってマス

大佐賀 三次郎さん(84歳)

明治33年6月22日生

住所 川倉向道

◇六十歳を過ぎてから毎朝散歩がわりに新聞配達をしています。手先は至って器用で、ワラジ、ケラ、エンツコなどのわら工品作りが特技の一つ。昭和五十二年に町褒賞を受けました。川倉の人たちからは、三柱神社の宮守と呼ばれ、慕われています。

至って達者な大佐賀さんに若い頃の話をもつてみました。

◇ん——と、若い頃はちようどテレビに出てくる何とかの番組で「アマゾン」とか「ニューギニア」の生活に似てアッタナア。当時、

おら、カムチャッカの日露会社というサケ、マスの缶詰工場サ稼ぐに行つて毎月家サ仕送りしてどうにかこうにか食いつないで来た。一番苦しかった時は、先妻に死なれて五才の長男と



川倉の守り神、三柱神社で今日も清掃奉仕する大佐賀さん

二人で暮らしてアッタ時だ、やつと一人前になったと思つたら兵隊に取られア、戦死。何んのために生きア来たが……投げやりになつた時もアッタ。それも昔の話だナア……

三柱神社と、隣にある津軽三十三霊場十三番の観音堂の清掃がこの頃の日課ダオン。観音堂には毎日のように巡礼の人が来ているハンデ、きれいにしておガネバマネ。十年位前に百五十本の杉苗を神社の境内に植えて、だいぶオガッタネ。しめ縄も自分で作った物デ、毎年奉納してシタジャ。トシイッタキヤ体もだんだん言うことキガネグナッタナア。○……大佐賀さんの苦勞話が次々飛び出す中で、ふところから、戦争で失つたという長男の写真が顔をのぞかせ、何となく三柱神社と観音堂を率先して清掃奉仕し続ける意味が分かつたよう気がしました。



# さあ夏休みだ!!

## でもお母さん～

夏休みに、海や山へ飛び出す子供たちの顔は、生き生きと輝いて見えます。しかし、その一方で子供たちが非行に走りやすいのもこの季節で非行の発端は夏休み中の家庭生活をどう過ごしたかによって大きく変わってくるようです。

七月二十二日～八月二十日まで(金木小・中学校は八月十九日まで)が今年の町内小中学校の夏休み期間で、およそ一ヵ月あります。各小中学校とも生活指導部を設け、期間中の注意事項や事故防止をパンフレットに掲げ、約束事として呼び掛けています。

### 1 計画的 夏休みならではの目標を持たせる。

夏休みは、時間や物事の計画性を養う絶好の機会です。計画表を作らせきちんと実行させるようにしましょう。不得意の科目を徹底して

### 2 時間 約束した時間を守らせる。

朝寝、夜ふかし。休みに入った安心感から子供は時間間のケジメを忘れがちになります。学校を離れてのんびり過

### 3 友達 「ノ」の言える強さを持たせる。

子供には、イヤなことや悪いことにハッキリ「ノー」と言える強さを持たせたいものです。同僚だからなんでもといった行動を共にすることだけ

### 4 健康・安全 意外に多い水の事故

夏休み期間中に交通事故が多いのが水の事故です。「泳ぎに行ってくるよ」「車に気を付けてね」。これだけではいけません。プー

## 関係機関を集め 防犯運動会議



防犯会議であいさつする古川会長

金木警察署の所轄する防犯関係機関を一堂に介して、八日、同署会議室で、夏の防犯運動関係機関の打ち合せ会議が開かれ、細部にわた

少年のなやみごと相談「非行」や「いじめ」などに対する悩みについて、本人もしくは、保護者の相談に応じています。ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。電話53・2117内線36 ヤングテレホンコーナー 電話0177767676

運動(七月二十二日～八月二十一日)の実施に伴い管内から犯罪を撲滅しよう。と、金木、中里、市浦、小泊の各関係団体が集り、今季の防犯活動計画を検討しました。活動計画の内容は、水難事故危険箇所調査、ゲームコーナー喫茶店の巡回、夜間パトロール、少年のなやみごと相談所の開設、防犯映画教室。など盛りだくさんで、主に夏休みに向けての青少年非行防止が活動計画に組まれています。管内の今年一月～六月までの犯罪少年の補導は、十四人(うち女子一人)となつていますが、親の子供に對する「しつけ」や「話し合い」が犯罪の減少に結びつくことから、これを呼び掛けています。





# チビッコ三四郎 大健闘!!

西都車力村でさる六月三十日開催された第二回津軽地区少年柔道大会で、金木少年柔道クラブ(金本正士代表)が、稽古の成果を発揮し、堂々三位に入賞。大喜びしました。

弘前市、黒石市など津軽地区の柔道クラブ十五チームが参加して行われたこの大会に、結成二年目の金木チームが初参加。団体低学年の部で一回戦、二回戦を

苦戦の末勝ち進み準決勝では、強豪五所川原Aチーム(本大会優勝)と対戦し、二対三で惜しくも敗れ三位となったものです。

また、個人戦でも四年生の部で成田貴仁君が三位に入賞するなど、初出場ながら大健闘しました。

同クラブは、昭和五十八年五月、金木体協の柔道部が端を成し少年の非行防止と後継者育成を目的に発足

しました。

毎週火曜日と金曜日の午後七時から九時までが稽古時間で、現在十二人のチビッコ三四郎が稽古に汗を流しています。

柔道は、剣道や相撲と共に、礼に始まり礼に終るという格技特有の風潮を持ち、子供たちにも心身の鍛練には最適とされ、派手さには無にしる古くから人気のあるスポーツです。



入賞の金木チーム、ハイポーズ

尚、同クラブでは、只今参加者募集中。(連絡先52-2648-11金本)



## ヘラクレス座

今月の星座

八月の中旬には、午後八時ごろ南の空に見えます。

実際には、イラストとは逆さまに頭が下に見えます。

## 伝言板

さがしています。

金木町在住者で昭和5年7月15日生まれの方、金木町以北の北郡下で昭和5年11月13日生まれの方。

津軽鉄道K.Kでは、今年全線開通55周年の記念を迎え、記念行事の一環として記念品を贈ることにしました。

応募方法 葉書に住所、氏名、生年月日を記入のうえ8月31日までに、五所川原市字大町39 津軽鉄道K.K運輸課あてにお送り下さい。

## はじめまして

香ちゃん

五月二十八日生まれ  
体重三、四〇〇g  
嘉瀬 木立 茂さんの長女



## 戸籍の窓

六月届出



おめでとう

- 木立 香(茂) 嘉瀬
- 菊地 信好(一行) 喜良市
- 工藤 綾(寛之) 藤枝
- 藤本 武仁(信弥) 金木
- 木下華奈美(美人) 嘉瀬
- 白川 靖浩(嶺) 金木
- 鳴海 梓(幸憲) 喜良市
- 今 晴央(秀幸) 喜良市
- 三ッ橋祐希(智明) 金木
- 斎藤 真紀(勉) 嘉瀬
- 津田 沙織(一志) 嘉瀬
- 田中 佳海(考一) 時田

おしあわせに

- (小林) 利幸(晃) 東京都 田中 倉
- (今) 正明(正義) 五所市 坂本 木
- (平山) 隆治(行男) 五所市 濱田留利子(正) 嘉瀬
- (塚本) 光二(祐治) 中里町 伊藤えつ子(貞光) 嘉瀬
- (小山内) 作治(秀雄) 西目屋村 秋田絵里子(松則) 倉

## おくやみ

- (角田) 秀樹(久) 金城 熱海 栄子(良太郎) 宮城
- (神) 正昭(昭) 金木 津島 真由美(久治) 木村
- (村田) 睦均(忠造) 五所市 松野 睦子(清重) 中里
- (鳴海) 徳衛(徳四郎) 嘉瀬 中村 輝子(国雄) 中里
- (工藤) 誠兼(四郎) 川倉 棟方 英子(巳佐男) 鶴田
- (斎藤) 松男(定一) 時田 佐藤 繁子(定光) 五所市
- (津島) 政之(喜之) 金木 大橋 光子(貢) 喜良市
- (棟方) 秀雄(秀吉) 喜良市 白瀬 ムツ子(孝正) 金木
- (伊藤) 治美(武美) 嘉瀬 山田 佐知(幸雄) 稲垣
- (北川) 晴美(満) 五所市 近藤 勉(一男) 喜良市
- (伊藤) 稔(粧衛) 神奈川 吉崎 恵美子(好光) 嘉瀬
- (奈良) 章史(一) 喜良市 小松 竹太郎(69) 嘉瀬
- (前田) 富美衛(68) 神原 秋谷 竹次郎(85) 喜良市
- (外崎) 精一(73) 時田 黒滝 ヨシ(79) 金木
- (鎌田) 善七(75) 嘉瀬 角田 誠一(46) 金木
- (伊藤) キネ(73) 喜良市